

# 家庭教育応援制度を 活用するためのヒント集



以下の表は、平成28年度から令和5年度に「家庭教育応援制度」を利用した学習会の事例集です。申請の際の参考にしてください。講師をご紹介できる場合もございますので、学習会を開いてみたいテーマがありましたら、地域教育課までお問い合わせください。

※講師との事前交渉（開催日時や内容等の打合せ）は、申請団体に行ってください。また、講師の紹介を確約するものではありません。

分類	学習会のテーマ	内容	参加者の感想
生活習慣	すべての根幹は睡眠にあり	睡眠の「質・量・リズム」のバランスの重要性について。	睡眠の質が良くなるように生活や部屋の環境を整えていこうと思いました。
	早寝・早起き、朝ごはん ～生活リズムの大切さ～	子どもの心を引き出すリズム表現を通して、生活リズムの大切さ、子どもとの関わり方を学ぶ。	子育てを振り返る良いキッカケになった。
	子どもの運動と生活リズム	乳幼児期の運動の必要性や重要性、生活リズムを整えることの大切さについて学ぶ。	みなさんが苦労されていることを、講師の先生が共感してくださることで安心した。
インターネット	子どもを取り巻くネットのリスクと子どもの安全	ネット依存やネットいじめについての事例を交えた説明。メディア・リテラシー、メディアと上手に付き合う方法について。	スマホや携帯電話を子どもに与える際に気をつけることなど、とても参考になった。

分類	学習会のテーマ	内容	参加者の感想
体づくり・運動	子どもの体づくり	子どもの発達に応じた体づくりに大切なことについて学ぶ。	久しぶりに子どもと体を動かすことができ楽しかった。乳幼児の運動遊びの必要性を学べた。
	運動が好きな子どもを育てるには	親子で行う運動遊びと、子どもが楽しんで身体を動かすための工夫や方法について。	身近な場所で専門家の話を聞いてよかった。また、実践を交えて楽しく運動遊びを学ぶことができた。
	親子でリトミック	親子で音楽に触れ、リズムを感じながらスキンシップを図り、コミュニケーションを深める方法を学ぶ。	事例を挙げながら、その時の対応やアドバイスをいただき、とても参考になった。
	頭（脳）と心と体を刺激する コーディネーショントレーニング	頭（脳）と心と体を刺激するコーディネーショントレーニングの実例と実践。	実際にやってみて楽しかったので、きっと子どもたちにとっても楽しいと思った。
性・LGBTQ	LGBTQについて	性別にとらわれず自分らしく生きる。セクシュアルマイノリティの基礎知識と体験から学ぶ。	今までLGBTQという言葉は何となく知っていたが、身近なところで悩んでいる方々がいることを理解しました。
	命の尊さ 子どもの自主性	子どもへの性に関する教育と子どもの生活と自主性について。	貴重な体験話や子育ての悩みについてアドバイスをいただけた。

分類	学習会のテーマ	内容	参加者の感想
L G B T Q 性・	性と生の話	妊娠・出産に関することや子どもの命と体について学びあう。	難しい内容もあったが、先生のおかげでとても勉強になった。
心身ケア	産前産後の心身ケア	産前産後の心身ケアやメンタルケア。赤ちゃんとスキンシップを取りながらできる体操紹介。	こういうイベント参加は初めてだったが、とても分かりやすかった。
親子のコミュニケーション	親子で打楽器を楽しむ	打楽器の演奏を聴いたり、リズム遊びしたりしながら、親子のコミュニケーションを深める。	音楽や文化を親子で触れることの大切さを学ぶことができた。
	子どもの脳は肌にある	親子の触れ合いが子どもの育ちに良い影響がある。体の育ち、五感の育ちが心の育ちにつながり、頭の育ちにつながっていく。	講演後、子どもとすぐ触れ合い、子どものことがより愛しく感じた。
	親子で心豊かに生きていくために	保護者の心の安定は子どもの心育てにつながっていることや、子育てで大切にしたいことに気づく。	子どもにかける言葉の重要性に改めて気がついた。
	心と体の健康と親子のコミュニケーション	子どもの心と体の健康を考えながら、実践を交えて親子のコミュニケーションのとり方を学ぶ。	ゆっくりリラックスした時間を過ごせた。子どもとの触れ合いを大切にしたいと思った。

分類	学習会のテーマ	内容	参加者の感想
親子のコミュニケーション	ヨガを通じた親子のコミュニケーション	ヨガを通して保護者の心身のリフレッシュを図るとともに、親子でスキンシップを取りながらヨガをし、コミュニケーションを深める。	楽しく、園内で気軽に参加できてよかった。子どもも喜んでいました。
	親子でダンスを楽しむ	親子でスキンシップを図ることでコミュニケーションを深める方法を学ぶ。	親子で楽しく参加でき、体を動かすことでリフレッシュもできた。
	親子のコミュニケーション	子どもの「やりたい！」を尊重し、自己実現を応援することが重要である。	大変わかりやすいお話だった。講演後に3人の方が先生とお話ししたくて並んでいました。

この機会にぜひ  
家庭教育応援制度を  
ご活用ください。

